

平成30年度 学校評価一覧表② 桐生市立広沢小学校

(様式2)

評価対象	評価項目	羅針盤 具体的数値項目	自己評価 (総合)	学校関係 者評価	学校関係者評価委員の意見	さらなる向上に向けての学校の考え
I 保護者と連携を図りながら教育をすすめていますか。	1 学校は、保護者への連絡をきめ細かく行っていますか。	①「学校や子どもの成長の様子がわかる」と答える保護者が80%以上である。	A (96%)	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校の活動を精選して Web 公開するなど、保護者との関係づくりを行っていると感じる。 教師・児童・保護者が一体となって、教育活動を行っていると思う。 スマホや携帯の 扱いなどについて、今後も保護者と連携しながら、対応していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や全校児童の活躍の様子、朝礼等の話題に触れた学校通信、各学年児童の様子を伝える学年・学級便り等の継続発行、及び携帯メールの適時配信により情報発信を充実させ、信頼される学校づくりに努める。 保護者との情報交換を密に行って家庭環境の把握に努め、学校と家庭とで指導する内容や方法の共通理解・実践を深める。 学校の活動を Web 公開も含め積極的に公開し、更に懇談会等で学校生活の様子及び課題、改善策等の取り組みを説明し、保護者との親密な信頼関係を構築する。 事例紹介等で教職員としてモラル遵守意識を高める。また、保護者や地域からの質問相談等に対し、誠実さ・素早さを備え、児童・保護者・地域への真摯な回答に努める。
	2 学校は、保護者が学校を理解したり、協力したりしやすい環境をつくっていますか。	②授業参観や懇談会に出席している保護者が80%以上である。	A (96%)	A		
		③質問や相談にきちんと対応していると感じている保護者が80%以上である。	A (95%)	A		
II 児童に「確かな学力」を身に付けていますか。	3 学校の授業は、わかる授業となっていますか。	④「授業がわかる」と答える子どもが80%以上である。	A (95%)	A	<ul style="list-style-type: none"> 時間だけでなく、学習は質が大切である。質を向上させることを中心にしてほしい。 宿題は、適切な量を出すことが大事であると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的知識を生かした教科担当制を実施することで、わかる授業を目指す。 校内研修を中心に、「はばブラ」を活用した課題解決的な学習を取り入れた授業、交流活動を取り入れた授業を充実する。 基礎基本と学習習慣の確実な定着を目指し、朝学習やドリル学習、繰り返し使える学習ノート等を活用する。また、漢字・計算コンテストを効果的な時期に行う。 家庭学習の手引きをもとに自主学習を進められるよう、回す自主学習ノートの活用、家庭学習の確認を保護者へ依頼、児童の努力の様子の紹介等を行う。
	4 学習したり読書したりする習慣が児童に育っていますか。	⑤家庭での学習や読書を、1日あたりの目標時間以上(1.2年30分、3.4年40分、5.6年60分以上)行っている子どもが80%以上である。	A (84%)	A		
III 児童に基本的な生活習慣を身に付け、「豊かな心」をはぐくんでいますか。	5 すすんであいさつしたり、はっきり受け答えしたりできる児童が育っていますか。	⑥すすんであいさつできる子どもが90%以上である。 (参考：H27は89% H28は88% H29は90% H30は児童93%、保護者82%、職員64%で80%)	B (80%)	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校内での評価は、Bであるが、地域では広沢小の子どもたちは、あいさつがしっかりとできていると思う。地域の行事に参加していても、あいさつができる。すばらしいと思う。 ホットルームの相談箱に入ってる手紙など、大きな問題になる前に対応していくことが大事であると思う。ぜひ、小さなことでもていねいに対応してほしい。 子どもたちの変化に気づくのは担任であるので、見過ごすことなく、子どもたちとの関係づくりを大事にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 折りに触れて挨拶の意義やよさ、時に応じた挨拶、年齢や相手意識等も含めて指導を行う。 児童自らが、地域でお世話になっている方々へ挨拶が行えるよう、取り組みを保護者に伝え、協力をお願いする。 生活指導委員、児童会本部役員、学級代表や縦割り班等による「朝のあいさつ運動」を行って全児童に励行を進めていくとともに、教職員、PTA有志、地域の人々等大人による率先垂範に努める。 生活アンケート等を確認し、クラスでの友達同士の関係作り居場所作りに努める。また、トラブルがあったときには児童の話をよく聞いて、児童同士が納得できるように指導を行う。 学習の約束や学習習慣のルール等に基づき、授業内で積極的な生徒指導、思いやりの心を育てる指導を行う。 生徒指導委員会での共通理解のもと、予防的指導として学校の決まりを守らせるとともに、重点課題や緊急を要する対応についても適宜対応を検討し、全職員で課題解決に向けて取り組む。 児童による話し合いや啓発活動を続け、いじめ防止に取り組む。また、保護者への啓発を図るとともに、解決や改善に向けた話し合いの場を設け、継続指導に努める。 各教科領域での学習と特別活動、清掃活動との関連を図り、係や当番、委員会活動等で意義を理解し義務を果たすことを指導する。また、家庭での手伝いの励行を働きかけ、家族の一員としての自覚と勤労奉仕の精神を育む。
	6 いじめのない温かな人間関係が育っていますか。	⑦相手の立場や気持ちを考えた、親切な言動がとれる子どもが80%以上である。	A (92%)	A		
		⑧自分のクラスが好きだと言っている子どもが90%以上である。	A (93%)	A		
	7 学校や家庭での自分の役割を果たしていますか。	⑨学校や家庭で自分の役割を果たしている子どもが90%以上である。	A (94%)	A		
IV 児童の健康づくりに努めていますか。	8 規則正しい生活をしている児童が育っていますか。	⑩食事や睡眠の意味と役割を理解し、規則正しい生活をしている子どもが80%以上である。	A (91%)	A	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から実施している肥満指導については、とても大事である。給食試食会や栄養教諭による保護者講演会などいろいろな取り組みをしていることは、とてもよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健だよりで食事や睡眠の大切さについて触れるとともに学級で指導を行うことで、家庭での基本的な生活習慣づくりを促す。 家庭科や体育科・道徳の時間の学習や学級活動・給食指導等において、バランスのよい栄養の取り方、楽しい食事の仕方、家庭生活をよりよくするための方法を実践できるように指導する。 校庭や遊具の整備や安全点検に努め、体育科だけでなく朝の運動、休み時間等に、積極的に体を動かすことができるよう、校内の環境を整えると共に、学級での活動を促す。
	9 日常的に運動に取り組めるよう、時間や場などの環境を整えていますか。	⑪からだを動かして遊んだり運動したりしている子どもが80%以上である。 (参考：H27は92% H28は91% H29は職員91% 児童91% 保護者83%で88%)	A (88%)	A		
V 児童の安全確保に努めていますか。	10 学校施設の安全管理を徹底していますか。	⑫防犯や避難、救護などを想定したシミュレーションを学期1回以上実施し、安全(危機)管理マニュアルの見直しを図っている。	A (95%)	A	<ul style="list-style-type: none"> スクールゾーン対策委員会を中心としてあげられたいくつかの危険個所について、地域としても市役所に対応してもらった。連携しながら対応できることがよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常及び定例の施設設備等の確認報告を行い、早期の修繕を図って危険防止に努める。 日々の安全指導の強化と共に、3回の避難訓練、2回の交通安全教室、児童引き渡し訓練、スクールゾーン対策委員会を実施し、安全対策の徹底に努める。 学級活動及び集団下校の際に地区の危険箇所を確認し、交通ルールも含めて子どもに意識させるとともに、PTAや関係機関と協力して危険箇所の改善を図る。 青少年センターや警察等関係機関との連携を密にし、携帯メール配信や電話で、防犯及び交通安全に関する保護者への早急な情報提供に努める。 長期休業前の全校児童への指導徹底や緊急時の校外パトロールの実施と児童の集団下校などの危険回避、安全対策の徹底及び改善に努める。
	11 通学時の安全対策をとっていますか。	⑬事故の発生原因を理解し、正しい歩行の仕方や自転車の乗り方ができる子どもが90%以上である。	A (94%)	A		
		⑭通学路の危険個所について子どもと話し合ったり確認し合ったりして、緊急時の対応がとられている家庭が90%以上である。	A (95%)	A		
VI 児童に将来への夢や希望をはぐくんでいますか。	12 児童が自らの将来について考えるように育っていますか。	⑮子どものよいところを認め、励ますよう努めている保護者が80%以上である。	A (92%)	A	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験やボランティアチューターという形で、卒業生がかかわってくれている。先輩の姿を見ることで、自分の将来を思い描くことができるとてもよい機会であると思う。 自分の個性を知ることが大事である。ぜひ、日常の中で育んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童同士の認め合いや学校で褒められた経験を児童が家で伝え、保護者が家庭で我が子を褒めやすい状況を作る。 児童のよさを認め、励まし、伸ばすことを継続する。 「わたしたちの道徳」を活用し、自己を見つめる活動や将来について考えさせる指導を継続する。 将来のことについてを家庭で話す機会が少ないと思われる。道徳や学級活動で将来にかかわるような学習を行った後に、通信等でそのことを保護者に伝え、家庭で更にそれを話題として話ができるようにする。
	13 児童は将来の夢や希望をもっていますか。	⑯将来の夢や希望する進路について家の人と話し合っている子どもが80%以上である。	A (86%)	A		
VII 児童に地域を理解し、愛する心をはぐくんでいますか。	14 学校は地域について学習する機会をもっていますか。	⑰地域について学習する機会があり、地域を理解し地域に親しみを感じている子どもが80%以上である。	A (92%)	A	<ul style="list-style-type: none"> 教育目標に「広沢を愛する子」を掲げている。とてもよいと思う。今後も大事にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 桐生を好きな子を育てる事業とも関連を図り、生活科や総合的な学習の時間、社会科の時間を中心に、地域環境や施設、人と関わりのある教育課程を実施する。 地区で取り組んでいる家庭の日運動と連携を図り、公民館や地域で実施される行事を紹介し、学期中及び長期休業中に様々な行事に進んで参加するよう、児童や家庭に啓発する。
IX 目指す児童像の育成に向けた組織を編成し、円滑に運営していますか。	15 目指す児童像に迫るための手だてを考え、実践していますか。	⑱学校評価の各項目と担当している校務分掌を関連付けて実践し、成果や課題を明らかにしている。	A (87%)	A	<ul style="list-style-type: none"> 教育目標に掲げられている児童の育成を目指して、組織的に取り組んでいると思う。 保護者・地域それぞれの立場からの意見も取り入れ、今後も風通しのよい環境づくりをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 各部会や学校評価から見えた課題を確認し、意識するとともに、その解決策について一人一人が考えることで、全職員参加による学校経営の改善を図っていく。
	16 組織の一員として協働参画していますか。	⑲一人一人の職員が立案した企画書の理解に努め、自分の役割を明確にし、適切に実践している。	A (86%)	A		